



キャリアの軌跡

vol.79



ハワイ研修

The final training in Hawaii!!

2019特集号

2019年10月11日発行



研修期間: 2019.9.16~9.20

【研修内容】

ハワイ大学医学部で、アメリカのシミュレーターを用いた臨床トレーニングを体験する



参加者の声

私はこのハワイ研修で、初期研修医に必要な救急対応や米国での医学教育がどのようになされているのかを学びたいと思い応募しました。英語に関しては全く自信がありませんでしたが、このハワイ研修では英語に慣れる良い機会となりました！

研修初日の英語での挨拶は、慣れない英語を話す事で精一杯であり聞いている人の方向を向いて自己紹介をすることが出来ませんでした。これから人前で発表する時は、前を向いて、部屋全体に目配せを出来るように心がけたいと思いました！

今までは失敗を恐れて消極的になる事も多かったのですが、ハワイでのシミュレーション教育を通して、失敗よりも積極的に挑戦することが大切だと感じました。

研修医1年次 M先生



ハワイでの約1週間、日本との技術や教育の違いを学ぶことができました。また、シミュレーションの際は指示出しやどうしてそのような処置をしたのか過程・考えも、先生方やチームの人とも話し合うことが多く、回や日数が増えるにつれて積極的に意見が言えるようになりました。間違えることもありましたが、チームのフォローやどのような意見でもきいてくださる先生方の姿勢もあり、苦手意識があった英語で発表することも楽しくなりました。英語にふれる機会を増やしたいという当初の目的は達成できたと感じます。初日にシミュレーションは何回も繰り返すことが大事と講義の中で言われました。チームで動くときどうするか、自分がリーダーのときどう指示するか、症例で学んだことを今後も反芻していきたいと思います。

参加者の声

研修医1年次 S先生



指導医からの声

10回目のハワイ研修無事終了しました。当初は事故や問題が発生しないように事前に様々な予防線を張っていましたが、10回目となると「死ななければ大丈夫」ぐらいの気持ちになり、チーム2019はノビノビと研修できたのではないのでしょうか！

100人を超える研修医とともにハワイで一番学んだのは私だと思っています。この経験を研修医や学生のシミュレーショントレーニングで更に還元したいと思います。



医療教育開発センター
指導医 ハワイ研修隊長
宮本 俊之 先生



Training program



MONDAY



初日はオリエンテーションから始まり、英語で自己紹介！米国での医学教育にシミュレーション教育がどのように活かされているかを学びました。また、夜勤当直後に起こりやすい症例への対処法を学びました！

TUESDAY



2日目は気道確保に関する講義とスキルの練習。そして困難な気道確保の症例をシミュレーションを通して学びました。また、フィールドでのトリアージ法をシミュレーションを通じて学びました！

WEDNESDAY



3日目はNogi先生の日米医療の違いに関するレクチャーからスタートしました。

教育や研修終了に関して大きく異なる事実を知りました。その後はiPadに接続して使う簡便な最新機種のエコー(BitterflyIQ)で心エコーのトレーニングを行いました。午後からはシュライナー小児整形外科病院に見学に行きました。



THURSDAY



4日目は小児に起こりやすい、または特有の救急の症例を学びました。また、Crisis Team Training(CTT) 臨床の知識、技術よりもチームワークに焦点を置き、急変患者に必要な課題を早急に達成できるか訓練しました。



FRIDAY



最終日は午前中にハワイのDMATの見学を行い、午後は高圧室診療所の見学を行いました。

最後はこの木何の木気になる木で有名な「日立の木」ことモアアアナガーデンのMonkeypodで伝統の人文字に**CHALLENGE!**

